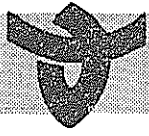


THE KŌHŌ NANKOKU



高知南國 報 廣

第 5 5 号

昭和39年 5 月 20 日

編集発行
南 国 市 広 報 委 員 会

事 務 所
高 知 県 南 国 市 役 所 内
(電 2111)

印 刷 川 北 印 刷 株 式 会 社
(電 3151)



美 祭 の 典

第一回日本体操祭

// 美しいリズムが流れ、人体の曲線美が青空に浮かぶ!!

ここ篠原の東工業高等学校で第一回日本体操祭がこの十六日に開かれた。

当日は市内の小、中、高の生徒を始め、一般の各種団体からも参加し、体操に、ホークダンスに、鼓笛隊の行進と、はたまた小林寺拳法の実技などが披露され、はなやかな祭典がくりひろげられた。

なお、高校の団体選手による体操の妙技が美しく、体操祭の花を飾った。

「こりゃ変わったノウ」、市役所らしくなったし、入りやすくなったジャイカ」と、このところ窓口にくる人たちになかなかの評を博しているのが、現在の市役所である。▼ところでいままで仕切られていたため目だたなかった職員の状態が一目で見え、これはど職員がいたものかと、驚いたものだ。しかし、職員の数は県内の他の新市とくらべれば決して多くなく、かえって事務職員の不足が訴えられている。▼反面少ない職員でより能率的にやっているのが市の人事行政の実体で、それだけ職員の一一人一人にかかる仕事の比重は大きいものといえる。そこで職員の努力はくんでやらなければならぬ。市もただ努力させるのみではなく、優秀な職員その労をねぎらってやるべきであらう。

